（別添資料１）

事業所名　療育センターさくら草　すみれ・たんぽぽ

# 支援プログラム

作成日　7　年　2　月　14　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | 子どもの成長と子どもを取り巻く環境に焦点をあて、一人ひとりに合った適切な支援を行います。 | | | |
| 支援方針 | １　子ども・保護者の立場で考え支援します。<br>２　子どもの成長に合った療育を提供します。<br>３　人権擁護・虐待防止に積極的に取り組みます。<br>４　地域の子どもたちを支えていきます。 | | | |
| 営業時間 | 通園グループ　９時３０分から１４時まで（水のみ１３時３０分まで）　フォローグループ　１４時３０分から１６時１０分まで<br>親子グループ　９時５０分から１１時３０分まで、または１４時３０分から１６時１０分まで | 送迎実施の有無 | あり（通園グループのみ）　なし | |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 健康・生活 | **「生活リズムを整えよう」**<br>決まった時間・曜日に通園し、日中安定した生活（または　様々な活動）を送ることで、食事・排泄・睡眠等のリズムを整えていきます。<br>給食では、楽しい雰囲気の中でいろいろな物に触れる・食べる経験を重ねます。<br>生活の中で身支度や片付け、着脱等、基本的な動作の習得に向け、スモールステップで取り組みます。 | | | |
| 本人支援 運動・感覚 | **「身体をたくさん動かそう」**<br>日常生活において基本となる動作を、活動を通して習得できるよう支援します。<br>お子さんの状況に合わせた遊びの中で、微細運動・粗大運動・バランス感覚など様々な動きの獲得や経験をしていきます。<br>楽しく活動ができるように、室内遊びだけでなく園庭・公園など季節に合わせた活動を行い経験を広げていきます。<br>【関連するあそび】運動遊具・さんぽ・水あそび　など | | | |
| 本人支援 認知・行動 | **「『わかった！できた！』を重ねよう」**<br>環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援します。<br>【関連するあそび】お絵かき・制作・感触あそび（粘土・スライム・小豆）　など | | | |
| 本人支援 言語・コミュニケーション | **「気持ちを伝える力を育てよう」**<br>様々な活動や人との関わりを通して、自分の気持ちを伝えられるように支援します。<br>伝えることの喜びや相手の気持ちを受け入れ、言葉の基礎につながるようコミュニケーションの力を育てます。<br>【関連するあそび】読み聞かせ・しゃぼん玉・おままごと　など | | | |
| 本人支援 人間関係・社会性 | **「人との関わりを楽しもう」**<br>集団生活やあそびを通して大人や仲間との関わりの中で自信と意欲を育て発達をうながすとともに、人との関わりを身につけていきます。<br>【関連するあそび】ふれあいあそび・ごっこあそび・ルールのあるあそび など | | | |
| 家族支援 | 親子通園日、送迎や連絡帳、面談を利用して、日常的に連携を図ります。関わりのなかで不安に思うことなど、家族の“困ったこと”を確認します。相談をとおして課題を明確にし、必要な支援を行います。<br>【関連する取組み】懇談会・作業療法士による保護者向け勉強会 | 移行支援 | 成長にともない、日々変化する課題に対して、関係機関との連携を図り、一貫性のある支援を提供できるようにします。<br>【関連する取組み】就学相談・就学時、就学先の学校等との連携 | |
| 地域支援・地域連携 | 当事業所の利用中だけではなく、地域で安心して生きていく中で周囲の理解が必要なときに、知識や情報の共有ができるよう支援します。<br>【関連する取組み】児童センターへの発達相談・近隣の保育園との交流保育・近隣の幼稚園や保育園の職員に向けての施設見学会 | 職員の質の向上 | 専門職としての自覚を持って日々の業務にあたります。自ら学ぶ姿勢を持った職員であり続けることで、サービスの質の向上に努めます。<br>【関連する取組み】法人内での階層別、テーマ別研修・市の専門職による職員向け勉強会・外部研修 | |
| 主な行事等 | 【入園式、遠足、土曜参観、夏祭り、運動会、お楽しみ会、卒園式、交流保育、音楽療法、アート作品展、誕生会、健康診断、懇談会、防災訓練】 | | | |